

久留米市就学システムの導入及び運用保守業務委託
企画提案書作成要領

令和6年2月
久留米市

1 企画提案書として提出する資料の種類

企画提案書等として、次の2つの資料について、それぞれ以下の留意事項に従い作成し、提出すること。

- ①本業務に関わる提案事項（以下「企画提案書」という。）
- ②①を補足する付属資料（以下「付属資料」という。）

2 全般的な留意事項

- ①提案者から提出された企画提案書に基づき評価を行い、記載内容に応じて採点する。このため、貴社の提案内容がわかるように考え方、根拠等具体的に記述すること。
- ②提案の内容については、本仕様書及び関係資料に記載されている本市の特性・現状を考慮した具体性のある記述とすること。
- ③本市の提示した内容と異なる提案をする場合については、特にその変更点を明確にするとともに、その背景、考え方、提案の理由を明確に記述すること。
- ④本仕様書及び企画提案書をもとに契約書に添付する仕様書を作成するため、確実に提案者が実現できる範囲で記述すること。

3 企画提案書作成上の留意事項

- ①企画提案書の様式は、A4横書き両面とし（図形等は除く）、日本語で表記すること。
- ②図面等を除き、文字の大きさは、原則12ポイントとすること。
- ③表紙と目次を除き、ページ番号（連番）を付けること。
- ④企画提案書の表紙には、宛名「久留米市長」、タイトル「久留米市就学システムの導入及び運用保守業務委託に関する企画提案書」、提出年月日を記載すること。なお、正本は必ず提案者の商号又は名称を表紙に記載したうえ、「参加申込書（様式第3号）」に使用した印鑑を押印すること。
- ⑤正本は1部作成すること。
- ⑥副本は17部作成すること。副本には印を押さず、表紙及び本文中に会社名及び会社名を類推できる表現を記載しないこと。副本に添付する各種様式についても同様とする。
- ⑦⑤の正本及び⑥の副本については、『5 電子媒体作成上の留意事項』のとおり電子媒体を作成すること。
- ⑧評価者が漏れなく正確に評価できるよう、編集には配慮すること。特に、本市が提示した「提案書評価項目表」に則っていない場合には、採点しない場合もあるので注意すること。
- ⑨提案者の提案内容が理解しやすいように、簡潔でわかりやすい表現で記述すること。
- ⑩略語や専門用語等については、一般用語を用いて初出の箇所に定義を記述すること。また、理解しにくい用語や専門用語には脚注を付記すること。
- ⑪他の様式や補足資料に関連する事項が記載されている場合など、参照が必要な箇所には、該当するページを明記すること。
- ⑫本市の提示した仕様書の全面コピー及び「仕様書のとおり」といった記述に終始しないこと。このような提案については、採点しない場合もあるので注意すること。
- ⑬前項までの企画提案書の作成上の留意事項に則り作成しない企画提案書は、採点しない場合

もあるので注意すること。

4 付属資料提出上の留意事項

- ①付属資料は、一体として提出すること。また、付属資料一覧を表紙の次項に添付すること。
- ②付属資料は17部提出すること。付属資料には印を押さず、表紙及び資料中に、会社名及び会社名を類推できる表現を記載しないこと。
- ③付属資料はあくまで企画提案書を評価する際の参考資料であり、これら資料そのものは評価の対象とはしない。提案すべき内容は全て企画提案書に記述すること。

5 電子媒体作成上の留意事項

- ①企画提案書及び付属資料等の電子媒体（CD-R または DVD-R）については、以下のように正本及び副本を作成すること。
 - ・（正本）企画提案書、（正本）各種様式、（正本）付属資料
 - ・（副本）企画提案書、（副本）各種様式、（副本）付属資料
- ②電子媒体には、紙媒体で提出する文書すべてを含めること。
- ③副本の電子媒体の表面には、商号又は名称を記載しないこと。
- ④電子媒体は、Microsoft Office 2016 で読み込み可能な Word、Excel、Power Point または PDF で作成すること。

6 企画提案書の構成

企画提案書には、次の表の項目について、項番順に記載すること。

項番	項目	記載依頼事項
1	全体概要	本業務の目的、スケジュール、システム開発体制、運用保守業務の体制、開発・運用保守実績
2	業務機能	基本的な考え方、住民記録システムとの連携、就学援助の翌年度自動継続認定処理、就学援助の認定基準、就学援助の入学前支給、就学援助のマイナポータルからの申請、特別支援教育就学奨励費の機能要件
3	移行作業	データ移行の進め方、年度途中でのシステム移行による認定処理の対応
4	システム構成	全体構成、ガバメントクラウド構成、システム処理方式、性能及び拡張性、セキュリティ要件
5	その他構築関連作業	研修、マニュアル、情報システムの事業継続性
6	導入作業	導入方針、導入工程、進捗管理及び品質管理
7	運用保守	運用保守業務の内容、運用保守業務におけるコスト削減手法、運用保守業務の役割分担、サービス利用料の改定
8	機能	システム機能
9	構成	ガバメントクラウド構成

以上